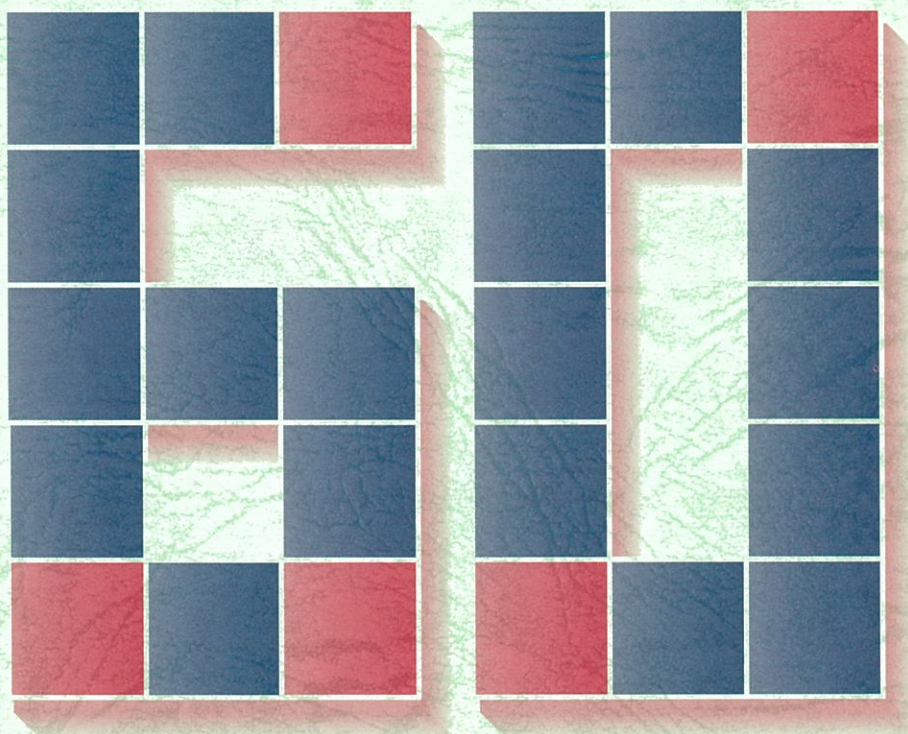


旅ひとすじ

創業60周年記念誌



夢、旅、思い出づくり。

株式
会社

日本交通社

◆ 株式会社 日本交通社の歩み ◆

◆ 創業60周年

(昭和31年営業所開設)

◆ 中興50周年

(昭和41年中村社主入社)

◆ 創立40周年

(昭和51年分離独立)

ごあいさつ



代表取締役社長 中村 剛志

株式会社日本交通社は昭和31年に相原経之社長（重信町出身）によって大阪で創業され、同時に松山営業所が町田珠江氏（社長の姉）のもとこの地に開設されて以来ちょうど60年を迎えました。これもお客さまはじめ業界各位のご支援、ご指導の賜と感謝すると共に厚く御礼申し上げます。

開設当時はまだ旅行人口も少なく苦難の時代でありましたが、私の入社しました昭和40年代は道路網の整備、高速道路の開通、大型フェリーの就航と旅行環境が整備され大阪での万国博覧会で爆発的な旅行ブームとなり、私達にとっては高度成長期の申し子とも言えるよき時代でありました。

そして昭和50年代は松山営業所が独立し一人歩きを始めました。旅行業専門業者で四国で初めて「一般旅行業」登録の認可、東亜国内航空、全日空、日本航空の代理店取得、本社ビルの完成と総合旅行業者として一応の体制を整えることが出来ました。

しかし平成3年の湾岸戦争、翌年のバブル崩壊により旅行業界は冬の時代となりました。

特に近年は団体旅行から個人旅行へ志向に、インターネットの発達による業者離れ、そして低手数料と支払サイトの短縮それに追い打ちをかける長期に渡る経済の低迷等々により構造不況業種になりましたが私達は総力を結集して「不況業種と言えども必ず好況の会社はある」と信じてこの厳しい時代を生き抜いて参りたいと思います。

今後共、何卒ご愛顧、ご指導下さいますようお願い申し上げます。

目 次

◇ごあいさつ 60周年にあたって……代表取締役社長 中村 剛志

1.創業者（相原経之社長、町田珠江所長）	1
2.社訓、会社概要	2
3.沿 革	3
4.60年の歩み 1.昭和31年～40年.....町田珠江	5
2.昭和41年～平成6年.....中村剛志	6
3.平成7年～平成14年.....浜野勝久	10
4.平成15年～平成20年.....中岡 優	10
5.平成21年～平成25年.....浜野勝久	11
6.平成26年～	11
5.社員紹介	12
6.事務所の移りかわり	18
7.思い出のアルバム	27

創 業 者



社長 相原 経之氏



所長 町田 珠江氏

故相原 経之氏（昭和31年～昭和43年）

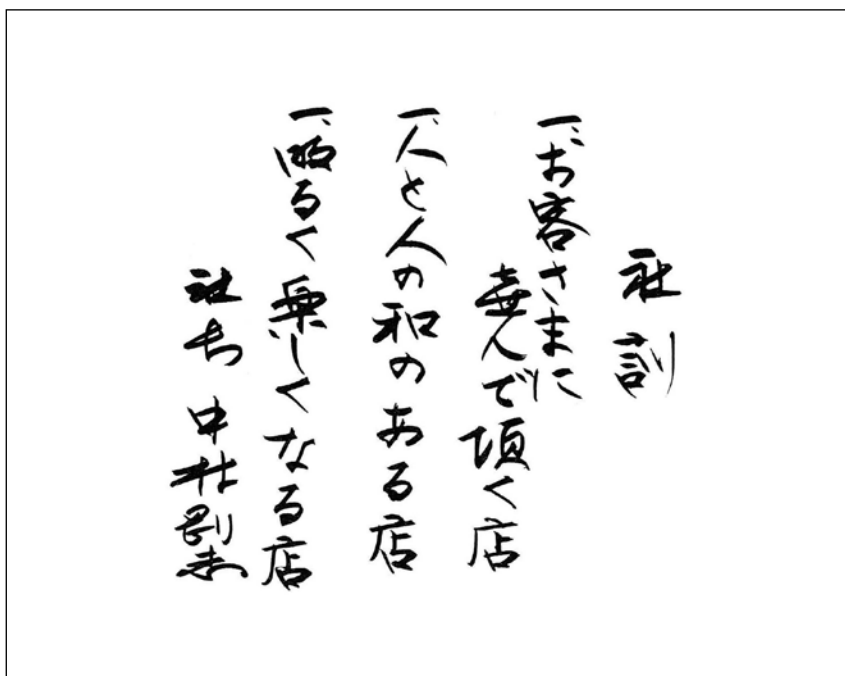
北尾 稔氏、武内 義雄氏等と株式会社日本交通社を創立、京都大学卒業の異色の社長で、大阪府の旅行業界をリードする大物社長であった。

相原社長が育てた人材は多く「相原学校」の卒業生として大阪の業界で活躍した人も多かった。

昭和43年3月惜しまれつつ若くして他界した。

故町田 珠江氏（昭和31年～昭和45年）

相原社長の実姉で砥部町に在住、会社創立と同時に松山営業所を開設、愛媛相互銀行在職中に鍛えた営業手腕で15年間に渡り営業所を運営、「男の人に負けるか」がロゴセのファイトウーマンで粘りと押しの強さで素晴らしいセールスを展開し、むつかしい初期の旅行業界において活躍し、現在の日本交通社の基礎を築いた。



(恩師 中田三鶴先生書)

会社概要



夢、旅、思い出づくり。

株式会社

日本交通社

- 〔設 立〕 昭和50年12月24日（創業昭和 31 年）
- 〔資本金〕 5,000万円
- 〔営業所〕 本 社 松山市勝山町 1 丁目 18 - 10
日本交通社ビル 1 階 ☎(089) 946 - 3911 (代)
- 大洲営業所 大洲市中村231
愛媛舗道ビル ☎(0893) 24 - 7911 (代)
- 〔登 録〕 国土交通大臣登録旅行業第一種613号（昭和57年4月3日）
- 〔代理店〕 (株)日本航空、全日本空輸(株)
- 〔役 員〕 代表取締役社長 中村 剛志
取締役執行役員 浜野 勝久、石井 健夫
常 務 取 締 役 田村 剛、光田 秀之
監 査 役 中村 佑志
- 〔社 員〕 27名
- 〔所 属〕 日本旅行業協会、愛媛県旅行業協会

沿 革

創業

- 昭和31年 8 月 株式会社日本交通社(本社大阪市)設立。社主 相原経之、代表取締役
北尾稔就任、松山営業所開設、所長 町田珠江就任
- 昭和35年 3 月 本社代表取締役に武内義雄就任
- 昭和40年10月 本社代表取締役に相原経之就任
- 昭和41年 4 月 中村剛志入社(後継者として)
- 昭和43年 4 月 相原経之の社長死去により代表取締役 相原盈子就任
- 昭和46年 1 月 松山営業所代表取締役所長 中村剛志就任
- 昭和46年 5 月 松山営業所を松山市道後一万町 2-19へ移転
- 昭和47年 2 月 本社代表取締役に岡田潔郎就任
- 昭和48年 9 月 西武トラベル(株)代理店 運輸大臣登録旅行業代理店業第1548号認可
海外旅行取扱い開始
- 昭和50年 4 月 松山営業所を松山市勝山町 1 丁目19-3 青木第一ビル 1 階へ移転新
装オープン披露パーティを開催

創立

- 昭和50年12月 株式会社日本交通社四国本社設立、資本金500万円
代表取締役 中村剛志就任
- 昭和51年 3 月 愛媛県知事登録 国内旅行業第48号認可
- 昭和51年 7 月 西武トラベル(株)代理店、運輸大臣登録旅行業代理店業第1952号認可
- 昭和51年10月 資本金を1,000万円に増資
- 昭和54年 6 月 東亜国内航空(株)代理店取得、航空券発売開始
- 昭和55年 2 月 松山市湊町3丁目8-1(銀天街ニチイ前)にハネムーンセンター開設
- 昭和55年 3 月 創業25周年記念パーティをホテル奥道後にて開催
- 昭和56年 9 月 一般旅行業登録取得を目指し社名を株式会社日本交通社と改称、資
本金を4,000万円に増資
- 昭和57年 2 月 一般旅行業登録基準引上げの為、資本金を5,000万円に増資
- 昭和57年 4 月 運輸大臣登録一般旅行業第613号登録認可
- 昭和58年 4 月 全日本空輸(株)代理店取得、航空券発売開始
- 昭和58年 6 月 本社ビル完成。本社を松山市勝山町 1 丁目18-10 日本交通社ビル
1階に移転

昭和61年 2 月 創業30周年記念パーティを道後国際ホテル大和屋にて開催
昭和62年 1 月 迎賓館ハネムーンコーナー開設、所長 近藤多恵子就任
昭和63年 1 月 双海営業所開設、所長 三井典行就任
昭和63年 4 月 (株)日本航空代理店取得、航空券発売開始
平成 2 年 3 月 創業35周年記念感謝の船運航 (宮島)
平成 4 年 4 月 大洲支店開設、支店長 中岡優就任
平成 7 年 2 月 代表取締役社長に浜野勝久就任
平成 7 年 3 月 創業40周年記念感謝の船運航 (大三島)
平成 7 年 3 月 創業40周年記念パーティをホテル奥道後にて開催
平成 7 年 4 月 松山・ソウル定期便就航 (週 4 便)
平成11年 7 月 本社隣接地取得 (130坪) 駐車場として利用
平成11年 8 月 銀天街トラベルプラザを本社へ統合
平成12年 3 月 創業45周年記念感謝の船運航 (大三島)
平成14年11月 中村剛志 砥部町長に就任
平成15年 1 月 中村剛志社主、浜野勝久会長、中岡優社長の体制となる
平成17年 3 月 創業50周年記念感謝の船運航 (宮島)
平成17年12月 創業50周年記念パーティを松山全日空ホテルにて開催
平成18年 2 月 駐車場売却
平成21年 1 月 代表取締役社長に浜野勝久就任、田村剛常務体制となる
平成25年 2 月 中村剛志 砥部町長退任、営業手伝いとして復帰
平成26年 1 月 代表取締役社長に中村剛志就任
平成28年 1 月 田村剛、光田秀之 二常務体制とする
平成28年 3 月 創業60周年記念パーティを国際ホテル松山にて開催

60年の歩み(1)(昭和31年～40年)

故町田珠江

光陰矢の如しとか申しますが昭和31年夏に旅行業を思い立ちまして夢の様に月日が経ってしまいました。

何も分らず乍ら、当時は業者も少なく盲目蛇におじずのたとえの如く、無我夢中で始めました。年明けて最初の仕事が或る村会議員の視察を兼ねた慰安旅行で九州一周に近いものでした。時刻表と首引きで一生懸命コースを作って持参致しました処、交通公社で作ったのと同じに出来ているので、あなたの方を選びますと云われ大喜びで周遊券を持って行きました。

コースがとても良いと思ったものですから募集した処、30数名参加して周遊券を作ってもらって出掛けましたが、駅の改札口で30何名を周遊券に誰が作ったのかとブツブツ云われ、何であんなに云われたのか私には訳が分りませんでした。後で30名から団券になる事が分りなるほどと思いました。

お恥しい事ですが私はどこも旅行等行っておらず、何も知らんのに添乗員として腕章をつけたり旗を持って行くのが恥しくて、列車の中でも腕章をつけたりはずしたりしていたそうです。その時のお客様は今もよくお話が出るので、あの時が私の旅行の手始めだったと云いますとびっくりされました。

その頃はどこへ行っても道が悪くまだまだ開通してないので列車で行っては観光地でバスに乗ると云う事でした。九州一周も指宿等はまだ名前も知れてなく南は鹿児島迄でした。最初の九州一周5泊6日で旅費が8,500円だったと思います。1泊2食の宿泊料が500円で上等、350円位だったと思います。

大阪本社と合流でお座敷列車で色々に行きました。流石に広い大阪駅の北口もお座敷列車で出発する時は日本交通社のお客様で一杯でした。北海道等も始めのうちは列車で廻り、現地で観光バスと云う具合、白老等馬車で行きました。今ではどこへ行くのも貸切バスで行きますけど、お座敷列車で廻りますと、行く先々で楽隊で迎えられたり、花火・爆竹や紙吹雪・花束贈呈等と大変な歓待でした。又、その当時は女の添乗員は少なく、色々と失敗を致しましたが何とか済ましてもらいました。

今更乍ら御迷惑をかけた事、申し訳なく思っています。取止めもなく思いつきばったりでお恥しい次第ですけど筆をおさめさせていただきます。

皆々様の温かい厚い御支援を頂き大禍なく過しました事、誠に有難うございました。日本交通社の今後の御発展と社員御一同様の御健康と御多幸をお祈り致します。

平成7年3月記

60年の歩み(2)(昭和41年～平成6年)

中 村 剛 志

1. 入社のきっかけ

昭和38年3月県立松山商業高校を卒業と同時に伊予商運株式会社(一般旅行業第481号)に入社。関西汽船全盛の時代で乗船券の発売、乗船客の誘導など代理店業務が主な仕事で、暇々に海の記念日ツアーや修学旅行、会社の慰安旅行などを取り扱っていました。集客した団体は自分で添乗出来るのでそれが楽しみで時間を割いてはセールスに出かけていました。

ある日、通学中よりいつも同じバスに乗り合わせていたご婦人が切符を買いに来られました。女性でありながらいつも背広を着て、カバンを提げていたので珍しく特に印象に残っていましたが話したこともなく、学校の先生か保険のセールスの人かなと想像していた人です。「おばさんいつも原町から乗っているでしょう」が話のきっかけで「日本交通社」という旅行会社をしている町田さんと初めて知りました。

昭和39年夏頃より「中村さん旅行の仕事をやってみる気はない？私も歳だから2、3年したら譲るけん、後をやって…」とお誘いをうけましたが私は今、会社に特別に不満もないし、入社した以上はせめて3年は勤務しなければとお断りしたが、それなら3年経ったら来てくれと熱心に誘ってくれました。小さい頃から自分で商売をやりたいと思っていましたので松商に進学しましたし、「旅行業」は魅力があり、自分の力が最大限発揮できる道と確信し昭和41年2月「会社が嫌で退めるものではありません。私の力を試してみたいのです。我俣を許して下さい」と辞表を提出しました。涙がこぼれて仕方なかったのを思い出します。3月20日付で伊予商運(株)を退職しましたが新入社員が慣れるまでと言うことで4月20日までお手伝いをさせて戴きました。

2. 昭和41年～45年

(株)日本交通社松山営業所にいよいよ入社(22才)これからは自分で稼がねば(利益の折半という条件であった)と思うと身震いする程の興奮を覚えました。事務所は銀天街の裏通り、中道陳列店の2階にあり、会社は町田所長と私の二人で午後から商大生の相原經典君(町田所長の甥)がアルバイトで来てくれていました。

まず、この仕事に賭ける為、伊予商運時代の貯え全財産と父親から借りた大枚「26万円」で「足」となる「キャロル」という中古の軽四を買入、決意も新たに旅行のセールスに取り組み今までの倍くらいの年収40万円を獲得しました。次年度からは自分が会社を引受けた時の事も考えて「人材集め」を開始、経験者に何とか来てもらおうと努力をしましたが自分自身の力がないうえに会社の歴史はありましたが松山での実

績は今一步で一人もスカウトすることは出来ず失敗に終わりました。

それではと経験はなくとも旅行の仕事をやってみたいと情熱のある人と言うことで宮内さん、種植さん、音田君に順次入社してもらいようやく事務所にも活気が出て来て実績もうなぎのぼりとなりました。45年の万国博で爆発的な旅行ブームがおこりこれを花道に町田所長が引退することになりました。

3. 昭和46年～50年

「若さとのれんと信用」のキャッチフレーズを掲げて船出（26才）社員は種植さん、宮内さん、音田君と私の4名でスタート。まず考えたことは古い体質から脱皮するため、①社員を歩合制から給料制に移行②経理の明確化③事務所の移転（1階）の三点を実施することにしました。

一番頭を痛めたのは事務所の移転で結局、昭和46年5月に上一万へ移転、当時はマイカーでの道後温泉への入込客が多く宿泊手配で家賃位はまかなえると予想して選びました。その選択は成功し、家賃以上にかなりの収益をもたらしてくれました。

昭和48年には西武トラベル(株)代理店として海外旅行業務に進出、昭和50年4月には会社の安定を計る為カウンター業務の強化を目指し勝山町に新築された青木第一ビル1階に事務所を移転し、披露パーティを開きました。社員も12名となり一致協力「モーレツセールス」を展開し、オイルショックも問題とせず当社の高賞与は業界の話題となり、つとに名を知られる存在となりました。

4. 昭和51年～55年

大阪本社と会社の将来について話し合いましたが我々の航空代理店や一般旅行業登録の取得を目指す積極経営論が理解されず已むなく分離独立することになり、(株)日本交通社四国本社を設立、国内旅行業愛媛県知事登録第48号、旅行業代理店業運輸大臣登録第1952号を取得し営業を開始しました。

昭和52年10月私の右腕ともたのむ種植専務の独立問題が発生、翻意してもらおうべく説得をつづけましたが結局、種植専務以下4名が行動を共にし去って行きました。どこが悪かったのかと反省すると共に「人は生まれたら死ぬ、入社した人もいつかは去る」のが摂理と自分にいい聞かせました。

試練に立たされましたが移転の目論見通りカウンター売上が増加した事と伊予鉄観光社を定年退職した村上氏をスカウトしたお蔭でダウンすることもなく、昭和54年には東亜国内航空の代理店を取得、記念に募集した「ハッピーツアー南九州」は往復飛行機利用でホテルに2泊、料金は29,800円の格安商品で2ヶ月間で1,600名集客という大ヒット商品となりました。又、昭和55年2月にはカウンター部門強化の為、松山市のメインストリート銀天街にハネムーンセンターを開設、年中無休の、カウンター専門店松山では初めてでした。銀天街への出店は入社した時からの一つの目標でもあ

りました。

5. 昭和56年～60年

昭和57年2月には伊予鉄観光社を定年退職した井門氏をスカウト、売上げにも大貢献してくれました。同年4月には念願としていた一般旅行業登録（第613号）を取得。前年の8月より運輸省に何度となく足を運び自力で取得しただけに喜びはひとしおでした。

続いて昭和58年4月には全日空代理店の取得、そして昭和58年6月には入社来の夢でありました本社ビルの完成、立地も前営業所の斜前で申し分なく事務所も十分なスペースがとれオフコンを導入し、業界で初めてコース表と見積書が同時プリントできるシステムを完成しました。

本社ビルの完成、一般旅行業登録、全日空代理店の取得といろいろな人々のご協力、ご支援でこの5年間で会社の形を整えることが出来ました。

6. 昭和61年～平成2年

昭和61年2月には30周年行事としてゴルフ大会、パーティを催させて頂きました。

特にパーティは会場が割れんばかりの超満員のお客様をお迎えして私達に激励を頂き素晴らしいスタートをきらせて頂きました。

同年11月には南西航空（現日本トランスオーシャン航空）によって沖縄便が開設され積極的に取り組んだお蔭で以後永年に渡り30%のシェアを確保、「沖縄は日本交通社」の評判を得ることができました。

航空会社同士の競争も激しくなり各旅行会社がそれぞれのカラーに染められた時代でもありました。

海外旅行は国の「テンミリオン計画」（昭和61年に海外旅行者倍増計画を発表5年後に1,000万人の海外旅行者を目標にした。）もあり急速に普及、好景気にも恵まれ我々業界にとっては第3次旅行ブームとも言うべき良き時代で、当社も迎賓館ハネムーンコーナー、双海営業所、東京営業所と積極的に店舗展開をした時期でもありました。

又、平成2年3月には関西汽船「はやとも」をチャーター、35周年記念行事として宮島へ「感謝の船」を運航。720名のお客様に瀬戸内海クルージングを楽しんでいただきました。

7. 平成3年～平成6年

平成3年は湾岸戦争により海外旅行の取消し続発、停戦後も海外旅行は戻らず、順調であった海外旅行は過去最大の減少となりました。

平成4年には「バブルの崩壊」により経済不況に陥ると共に俗に言う「安、近、短」旅行が増加。松山地方への影響は若干遅れ平成5年頃より不況色が濃くなり、「価格破壊」現象も出現し、安いものしか売れないうえに、平成6年の異常渇水、本年1月

の「阪神・淡路大震災」と天災があり、本当に厳しい冬の時代に突入しています。

海外旅行は平成3年に新松山空港がオープンしJTBはじめ大手10社と我社を含めて地場6社の一般旅行業者の共同運航により毎年約60便のチャーター便を運航。そしていよいよ本年4月より松山空港よりソウルへの定期便が開設され手軽に海外旅行が楽しんで頂けるようになります。

当社は今回の組織改革により私の永年の夢でありました元気なうちは一生働ける会社づくり「悠々倶楽部」(顧問団)制度を発足し永年に渡り会社に貢献して頂いた熊本、仲嶋、村上、乗松の諸先輩には、高所よりご指導頂くことになり、今後は浜野・中岡新体制で若い人中心の会社運営となり私共では日本交通社の「平成維新」と位置づけています。

8. 今後の旅行業界について

大衆旅行時代の幕あけ(昭和39年)から30年。企業30年説もある通り、旅行業界も大きく変わろうとしています。本年の6月頃には旅行業法の大改正も予定されています。

今後も海外旅行の増加は見込まれますが海外旅行の価格は30年前、20年前と変わっていません。どちらかと言えば安くなっています。

もちろん大量輸送時代ということもありますが今までは顧客需要の拡大に支えられて何とかやって来ましたが、ここにして消費不振もあり低収益率体質と相まって、「構造不況」業種になっていることは間違いありません。

これからは今まで以上にお客様を大切に、今まで以上にお客様のニーズに合った商品開発に取り組み、日本交通社でなければ(オンリーワン企業)と言われるような会社を目指さなければ生き残ることは出来ないと思っております。

社員との約束

◎日本交通社の社長は

社員と共に歩む、社長

1. 社員の生活の場を守り抜きます。
2. 時代にマッチした会社経営を行います。
3. 明るい陽性経営者になります。
4. 値打ちは業績と心得ます。
5. 明朗会計で稼いだ利益は皆んなに配分します。

平成3年1月に作成〔日本交通社旅のマニュアルより〕

平成7年3月記

60年の歩み(3)(平成7年～平成14年)

代表取締役社長 浜 野 勝 久

平成7年社長就任時はバブル経済がはじけて厳しい経済環境にありましたが、まだまだ企業の団体(慰安)旅行もかなりの数がありました。平成8年から始まった金融危機とデフレ経済の進行と共に企業の団体(慰安)旅行(福利厚生費)が激減してゆき、個人の募集旅行の低価格化を招き、旅行業界は非常に厳しい状況に陥りました。

これらの状況を打破するために平成10年より修学旅行の取扱に本格的に参入し、現在では小学校16校・中学校11校・高校3校と大きな柱に育ちつつあります。ただ、これも少子化の影響を受けるのは確実で、高校の修学旅行の数を増やす必要があらうと思います。

平成13年(2001)9月11日の米国同時多発テロに始まる米国のアフガニスタン・イラク侵攻(戦争)やサーズ・鳥インフルエンザ・スマトラ沖地震の発生(自然災害)などは、海外旅行のお客様の減少となって表れ、旅行産業がいかに平和産業であるかを思い知らされました。

社長在任中、多くのお客様・受入施設、運輸機関の皆様そして素晴らしい社員に恵まれ、厳しい時代を共に生きることが出来ました事に深謝いたしております。

60年の歩み(4)(平成15年～平成20年)

代表取締役社長 中岡 優

私が社長に就任した平成15年頃はまだまだバブルの後遺症があり旅行業が低迷した時代でした。特に公共事業に携わる建設業関連会社の研修、慰安旅行等の国内旅行は大きな影響を受けました。

一方、海外旅行では平成16年より新規に中国(上海)への定期便が就航しました。当社は早くから中国へのチャーター便等で取り組んでいた関係から、そこそこの実績も残せましたし、有望市場として毎週出発できる中国旅行を設定しました。又、平成17年には愛媛県下71市町村が平成の大合併により僅か20市町村に再編されました。

個体数が減るという事は即ち団体旅行数が減ることで我々は大きな影響を受けました。まさに「受難の平成大合併」と言えるかも知れません。そこで当社は景気に左右されない教育旅行(修学旅行・研修旅行)関連の集客に力をいれました。今日の当社が有るのも安定的継続制の見込める教育旅行関連に力を注いだ結果だと思われれます。

海外旅行については近隣諸国の政情不安等の影響が大きく突然の運行休止や減便の影響もあり十分な販売が出来ない状況でした。今もこの問題は残っています。旅行形態は変わってもこれからも旅行需要は益々増えると思われれます。どうか末永く日本交通社をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

60年の歩み(5)(平成21年～平成25年)

代表取締役社長 浜 野 勝 久

前年のリーマン・ブラザーズ倒産(リーマンショック)で世界経済は低迷しており、また、日本経済はデフレがますます進行して、厳しい経済環境となっており、旅行業界も安価さを競う状況に陥っておりました。

平成23年(2011)3月11日東日本大地震が発生し日本中が自粛ムードとなり、九州への旅行までが中止になるなど自粛は秋まで続いて当社にも多大な影響がありました。秋頃から「東北に旅行するだけでも復興支援になる。」と全国民が認知して、自粛ムードから一転して復興支援で東北旅行が多く発生いたしました。現地に行つて(テレビで見たのを思い浮かべながら)現場に立つと広範囲にわたって、もの凄い津波が襲った事を実感し、早く復興してもらいたいと祈るばかりでした。

平成24年(2012)尖閣列島国有化で中国の反日デモが起こり、中国に対する嫌厭が拡大して、中国への団体旅行が皆無となり、韓国では朴大統領が生まれ「慰安婦」問題で日本と対立して韓国への団体旅行が激減しました。これらに代わり3泊4日で行けて親日家の多い台湾への旅行が激増したのは有り難いことでした。これが平成26年11月～12月愛媛県要請の台湾へのチャーター便4本(松山空港チャーター推進連絡協議会の会員会社13社・会長 日本交通社)が、ほぼ満席で成功した要因の一つであったと思います。

平成25年(2013)済美高校が安楽投手を擁して春・夏の甲子園に出場しました。優勝してもらいたい思いで一杯でしたが、春は決勝戦まで勝ち進み、残念ながら準優勝となり、期待された夏は2回戦敗退となりました。久しぶりの甲子園出場でしたので、全社挙げて取り組み、会社が一つにまとまったと実感いたしました。

60年の歩み(6)(平成26年～)

代表取締役社長 中 村 剛 志

平成25年「〇〇を退任したものの就転難で元の会社に戻りました。」仕事は営業手伝いです。オーナーとして営業の手伝いをして思っていました。20年振りに社長に復帰しました。役目は後継者(次期社長)選びです。浜野社長、中岡社長で相談して決めてほしいとお願いしていたのですが……。旅行業界はこの10年間で大きく変わりました。当社も全盛時から比べると社員数も売上も半分になりました。廃業した旅行業者も少なくありませんし、友人のほとんどは業界を引退しました。ダーウィンの進化論ではありませんが時代に合った経営(お客様に必要とされる)でいかに厳しい時代であっても必ず生き残る気持ちでこの二年間頑張ってきました。お蔭さまでいい決算もさせて頂き、業務改善も進んで参りました。「何時ももっと良くなる方法はないか」を考え続ける日本交通社でありたいと思います。

社員紹介役員（営業部）



役職、氏名 代表取締役社長 中村 剛志
 生年月日 昭和19年2月9日
 入社年月日 昭和41年4月（業界歴53年）
 出身校 松山商業高校
 趣味 ゴルフ、麻雀（ボケ防止）、酒
 モットー いつもニコニコ
 ハイヨロコンデ人生



役職、氏名 取締役最高執行役員 浜野 勝久
 生年月日 昭和19年4月26日
 入社年月日 昭和56年10月（業界歴34年）
 出身校 松山北高校、松山商科大学（現、松山大学）
 趣味 サッカー、釣
 モットー 人生恥多きを楽しく明るく



役職、氏名 取締役執行役員 石井 健夫
 生年月日 昭和26年12月21日
 入社年月日 昭和49年7月（はと観光）（業界歴47年）
 出身校 松山商業高校
 趣味 ゴルフ
 モットー 真面目さがイチバン



役職、氏名 常務取締役 田村 剛
 生年月日 昭和33年7月26日
 入社年月日 平成7年1月（業界歴32年）
 出身校 新田高校
 趣味 スポーツ（球技、ジョギング）、読書
 モットー 誠実



役職、氏名 常務取締役 光田 秀之
 生年月日 昭和47年12月19日
 入社年月日 平成7年4月（業界歴21年）
 出身校 松山北高校、名古屋商科大学
 趣味 野球、スポーツ観戦、マラソン
 モットー 時間を守る生活をする

社員紹介（営業部）



役職、氏名 監査役 中村 佑志
生年月日 昭和58年8月13日
入社年月日 平成20年1月（業界歴7年）
出身校 伊予農業高校、愛媛電子ビジネス専門学校
趣味 パソコン
モットー 因果応報



役職、氏名 企画部次長 松本 邦彦
生年月日 昭和37年7月26日
入社年月日 昭和62年8月（業界歴29年）
出身校 吉田高校、東京工学院
趣味 乗り鉄・町あるき
モットー 元気で仲良くしっかりと



役職、氏名 営業部次長 本田 充
生年月日 昭和45年2月8日
入社年月日 平成13年1月（業界歴26年）
出身校 小田高校、愛媛電子ビジネス専門学校
趣味 スポーツ（野球、ウォーキング）
モットー 初心忘るべからず



役職、氏名 営業部課長 大西 洋
生年月日 昭和39年8月2日
入社年月日 平成8年1月（業界歴20年）
出身校 松山北高校、龍谷大学
趣味 飛行機に乗ること、見ること
モットー 笑顔



役職、氏名 営業部課長 村田 佳正
生年月日 昭和49年11月9日
入社年月日 平成6年9月（業界歴21年）
出身校 北条高校、国際観光専門学校
趣味 スポーツ(ラグビー)
モットー 一期一会

社 員 紹 介 （ 営 業 部 ）



役職、氏名 営業部課長 中川 礼年
生 年 月 日 昭和42年2月14日
入社年月日 平成16年1月（はと観光）（業界歴28年）
出 身 校 北条高校、大阪観光専門学校
趣 味 旅行、ドライブ
モ ッ ト ー 健康第一



役職、氏名 営業部係長 小笠 智将
生 年 月 日 昭和51年2月19日
入社年月日 平成16年8月（業界歴12年）
出 身 校 東温高校、香川職業能力開発短大
趣 味 映画鑑賞、スポーツ
モ ッ ト ー 自己流



役職、氏名 営業部 井上 愛華
入社年月日 平成21年4月（業界歴7年）
出 身 校 愛大附属農高、
愛媛電子ビジネス専門学校
趣 味 旅行、マリンスポーツ
モ ッ ト ー 何でもまずやってみる！



役職、氏名 大洲営業所所長 継野 隆
生 年 月 日 昭和36年1月8日
入社年月日 平成5年3月（業界歴23年）
出 身 校 大洲農業高校、東京農業大学
趣 味 釣り、映画鑑賞
モ ッ ト ー 平常心

社員紹介（カウンター）



役職、氏名 カウンター次長 一色 佳世
入社年月日 平成3年4月（業界歴24年）
出身校 済美高校、愛媛電子ビジネス専門学校
趣味 山登り、城巡り
モットー くじけず、めげず、落ちこまず…



役職、氏名 カウンター主任 島田 司
入社年月日 平成24年1月（業界歴37年）
出身校 松山西高校、松山東雲短大
趣味 音楽鑑賞、晩酌（ワイン）
モットー 穏やかに軽やかに



役職、氏名 カウンター 高木 春菜
入社年月日 平成24年4月（業界歴4年）
出身校 松山南高校、松山大学
趣味 映画鑑賞、テニス
モットー 仕事は楽しくしっかりと



役職、氏名 カウンター 山崎 詩歩
入社年月日 平成26年4月（業界歴2年）
出身校 聖カタリナ女子高校、松山大学
趣味 LIVE鑑賞、お酒をのむ
モットー 出会いを大切に



役職、氏名 カウンター 平尾 春菜
入社年月日 平成28年4月
出身校 松山北高校、松山大学
趣味 旅行、料理
モットー 初心忘るべからず

社員紹介（総務部経理課）



役職、氏名 総務部経理課 戸田 佳代
 入社年月日 平成9年4月（業界歴19年）
 出身校 宇和高校、松山大学
 趣味 城巡り
 モットー 笑顔



役職、氏名 総務部経理課 大倉 和実
 入社年月日 平成26年10月（業界歴2年）
 出身校 松山商業高校、名古屋商科大学
 趣味 バレーボール、ゴルフ（打ちっぱなし）
 モットー 何事にも楽しく！

社員紹介（参与）



役職、氏名 参与 中岡 優
 生年月日 昭和20年11月25日
 入社年月日 平成4年3月（業界歴51年）
 出身校 中山高校
 趣味 仕事
 モットー 仕事が一番



役職、氏名 参与 徳本 伸三郎
 生年月日 昭和13年4月16日
 入社年月日 平成10年5月（業界歴59年）
 出身校 松山商業高校
 趣味 健康にゴルフ、ポケ封じにマージャン、囲碁・将棋
 モットー 誠実



役職、氏名 参与 中村 眞知子
 入社年月日 昭和46年10月（業界歴45年）
 出身校 松山商業高校
 趣味 旅行、ゴルフ(少々)
 モットー 一期一会を大切に

社 員 紹 介 （ 参 与 ）



役職、氏名 参与 川越 俊二
生 年 月 日 昭和27年10月17日
入社年月日 平成8年1月（業界歴20年）
出 身 校 松山東高校
趣 味 ゴルフ
モ ッ ト ー 笑顔



役職、氏名 参与 竹口 久敏
入社年月日 平成53年7月（はと観光）（業界歴40年）
出 身 校 新田高校、日本大学
趣 味 ウォーキング
モ ッ ト ー 継続は力なり



役職、氏名 参与 熊本 忠
生 年 月 日 昭和8年4月12日
入社年月日 昭和47年2月（業界歴62年）
出 身 校 新田学園高等部
趣 味 ゴルフ
モ ッ ト ー 前進あるのみ



役職、氏名 名誉社員（OB） 武市 悟
生 年 月 日 昭和30年7月29日
入社年月日 昭和53年4月（業界歴38年）
出 身 校 松山商業高校、九州産業大学
趣 味 温泉
モ ッ ト ー 親切

[昭和38年～昭和50年]

事務所の移りかわり

S38.4～39.9

松山市湊町4丁目



S39.4～46.4

松山市湊町4丁目

中道陳列店ビル2階



S46.5～50.3

松山市道後一万町(上一万)



[昭和50年]

S50.4 ~ 58.5 松山市勝山町1丁目 青木第一ビル



[昭和58年]

S58.6~

松山市勝山町1丁目
日本交通社ビル



[平成3年]

H3.1 本社改装



1 F (カウンター)



2 F (営業部)



3 F (悠々倶楽部顧問団)

[平成17年]

平成 17 年～



カウンター



お客様駐車場



2F 営業部



1F カウンター



[昭和55年]

ハネムーンセンター

S55.2~H12.12

松山市湊町3丁目

銀天街ニチイ前



[昭和64年～平成6年]

S64.1 改装

銀天街トラベルプラザ



H6.1 銀天街トラベルプラザに改称



[平成4年]

大洲支店
大洲市若宮463
H4年4月～現在



[昭和62年]

S62年1月～H12年12月 迎賓館ハネムーンコーナー



旅

思い出のアルバム

[昭和32年～34年]



32年3月 永代寺高野山参拝団



林芙美子文学碑



32年5月 初めての主催旅行で南九州へ



34年7月 自老駅からアイヌ記念館まで馬車で



34年6月 添乗中の相原社長（後列左）
と町田所長（前列右）



34年7月 黄硫山にて



34年5月 松山観光団秋吉台へ

[昭和33年]



大阪駅を後に全九州観光の旅に出発



大阪駅コンクールに集合した城東友の会会員



宮崎駅頭で歓迎の花束を受ける加瀬支部長



さあ お座敷観光列車に乗込み

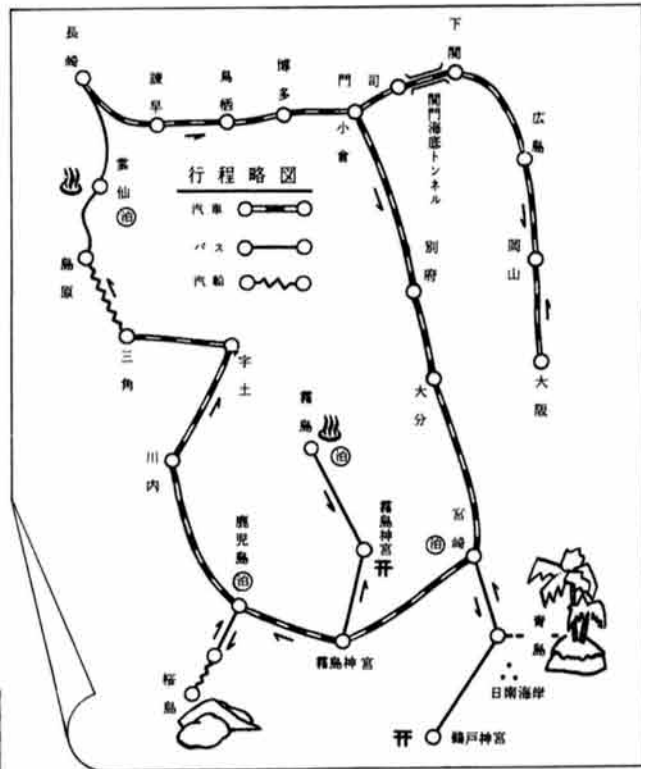


団体優勝者



個人優勝者

車内のど自慢大会に見事入賞のお客様



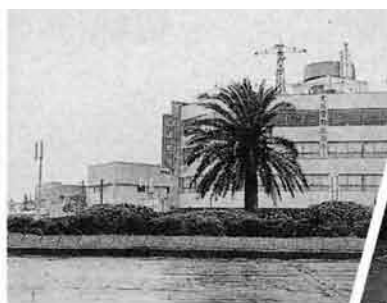
鹿児島本線を走る特別仕立貸切観光列車



車窓より
日豊線の風
光をのぞむ

33年6月 全九州の旅 (大阪本社扱い) 本社は大口団体を数多く扱い大阪旅行業界の雄であった。

[昭和33年]



フェニックス茂る宮崎市街

整然とした宮崎交通のガイドさん達の歓送風景



旧官幣大社霧島神宮に参拝するお客様



全員宿泊した霧島温泉 林田旅館



バスの窓より望む霊峰高千穂の峰



林田旅館のベランダよりのぞむ国分平野と桜島



33年6月 全九州の旅(大阪本社扱い) 駅ではバス会社の楽隊が出迎え、道路はほとんど舗装されていない。

[昭和34年]



“さあ元気でいきましょう”と
お座敷列車に乗り込んで



希望に胸躍らせて大阪駅での集合



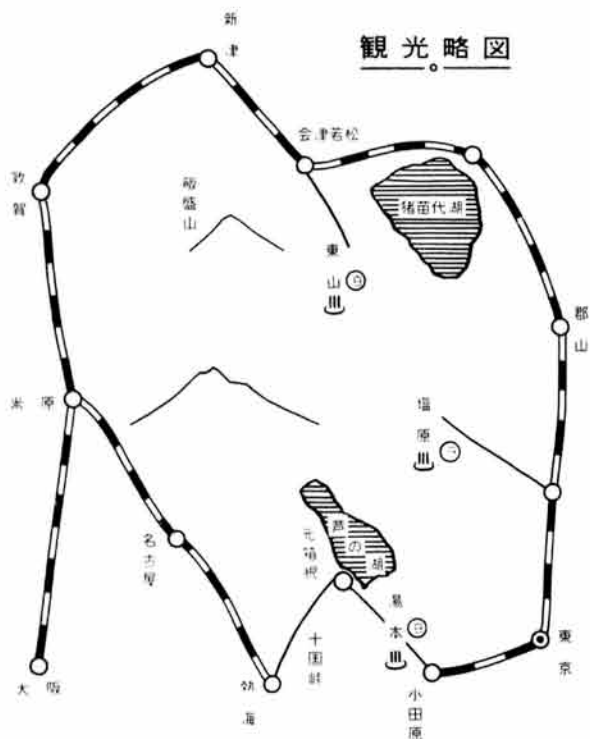
特別仕立お座敷観光列車



せまい車中もおどつてうたつて



ノド自慢スナップ



断崖せまる日本海を眺める

のど自慢晴れの入賞者

衆望に応えて団体賞に輝く



34年6月 東北、関東温泉めぐり(大阪本社扱い)
なつかしいSL列車、特別仕立のお座敷観光列車は大好評だった。



35 年 7 月 北海道十和田湖観光旅行 (大阪本社扱い) 大函にて



アイヌ記念館にて

◎コースのあらまし

三 日	二 日	八 月 一 日	三 十 一 日	三 十 日	二 十 九 日	二 十 八 日	二 十 七 日	二 十 六 日	二 十 五 日	二 十 四 日	二 十 三 日	七 月 二 十 二 日
大 阪 駅	全 発	塩 原 温 泉 着	函 館 発	全 発	白 老 着	全 発	全 発	層 雲 峽 温 泉 着	札 幌 着	定 山 溪 着	札 幌 着	大 阪 駅 発
六、三三	一四、〇〇	一六、三〇	一三、三〇	一八、〇〇	九、三〇	一八、〇〇	一七、〇〇	七、三〇	一四、〇〇	九、一七	一七、二〇	一七、二〇
目出度解散	京を経て	名残りの一夜を車中に明して東京を経て	函館市内見物後再び連絡船で：夜行列車中泊	西那須野駅より溪流の塩原温泉へ：最後の夕を楽しんで宿泊	美しい湖畔の温泉旅館宿泊	臨時列車で函館郊外の湯の川温泉にて宿泊	函館市内見物後再び連絡船で：夜行列車中泊	西那須野駅より溪流の塩原温泉へ：最後の夕を楽しんで宿泊	名残りの一夜を車中に明して東京を経て	目出度解散	京を経て	名残りの一夜を車中に明して東京を経て

12泊13日という今では考えもつかないような長期旅行



36 年 3 月 伊勢神宮



38 年 6 月 城島高原でそうめん流しを

[昭和40年～47年]



40年9月 大街道、湊町の商店主様のファンが多かった（谷川岳にて）



41年2月 城山で今西郷（木原老人）さんの説明を聞く



42年6月
本社と合同社員旅行で白浜へ



44年9月 松山市母子会南九州へ



45年 万博で松山市母子会役員の方と



46年5月 初めての海外旅行台湾へ



47年5月 事務所前で

[昭和 50 年 3 月] 松山銘木ハイツツアー



美女に囲まれてすっかりハワイ！



アロハで男性陣と

[昭和 50 年 4 月] 松山営業所新装移転



青木第一ビル（勝山町交差点）



店舗入口

[昭和 52 年 12 月] 社員旅行（香港、マカオ）



社員の独立ショック!! でも心機一転頑張ろう

[昭和 53 年 12 月] 社員旅行（鹿児島）



松山 - 鹿児島線開通（東亜国内航空）



九面太鼓に迎えられて

[昭和 54 年 11 月] 社員旅行 (ハワイ)



女子社員はハワイへ

[昭和 54 年 12 月] 社員旅行 (韓国)



男子社員は韓国へ

[昭和 55 年 1 月] 新年会 (中村社長宅)



後列 影浦、松本、熊本、朝山、村上、中村
中列 宮内、湊、楠本、武市、松本、土井
前列 松田、中村(妻)、中村、中村(父)、町田

[昭和 55 年 3 月 7 日] 創業 25 年祝賀会 (ホテル奥道後) ①



祝辞をいただいた青木明社長



吉海スタンプ連盟役員による鏡開き

[昭和 55 年 3 月 7 日] 創業 25 年祝賀会 (ホテル奥道後) ②



シェフの皆さんも腕を振って



中村社長の家族も参加して

[昭和 56 年 7 月] 社員旅行 (宮崎)



山内所長、原所長とロビーで



宮崎神宮参拝

[昭和 56 年 8 月] 韓国陶芸の旅



人間国宝 柳海剛先生と

[昭和 57 年 2 月] 奄美徳之島の旅



世界最高齢者 泉重千代翁を訪ねて

[昭和 57 年 4 月] 一般旅行業認可

一般旅行業者登録票			
登録番号	運輸大臣登録一般旅行業第	613 号	
業務範囲	国際	国内	
登録年月日	昭和 57 年 4 月 3 日		
有効期間	昭和 57 年 4 月 3 日から昭和 60 年 4 月 2 日まで		
氏名又は名称	株式会社 日本交通社		
営業所名称	本社営業所		

Licensed Travel Agent	
No. 613	
Name: NIPPON KOTSU SHA CO. LTD.	
Name of Branch: HEAD OFFICE	
Date of License: APRIL 3, 1982	
Scope of Activities: DOMESTIC & INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE	
Term of Validity: from APR 82 to 2 APR 1985	
Licensed with the Ministry of Transport of Japan in accordance with the provisions of the Travel Agency Law.	

何度も運輸省に足を運んで！（一般旅行業は、夢であり目標でした）

[昭和 58 年 6 月] 本社ビル完成 (勝山町 1 丁目 18-10)



ビル全景



店舗



1F 店舗カウンター



1F 裏 営業マデスク

[昭和 58 年 12 月] 社員旅行 (別府)



杉乃井ホテルでボーリング大会



城島遊園地にて

[昭和 60 年 4 月] 旅のかわら版



PR 誌の発行

[昭和 61 年 2 月 13 日] 創業 30 周年祝賀会 (道後国際ホテル大和屋)



中村社長



町田創業者



おいらん姿の芸妓さんも



ピンカトリオ?



社員 全員集合 前列中央は協定会奥村盛弘会長

[昭和 63 年 12 月] 社員旅行 (東京)



鎌倉大仏にて



横浜 中華街にて

平成元年 12 月] 社員旅行 (北海道)



昭和新山にて



十八番 こうもり傘の修繕



大沼公園にて

[平成 2 年 3 月 18 日] 創業 35 年感謝の船 (宮島)



来賓の皆様で鏡割り



久万山五神太鼓



コメディアン 人見じゅん



社員全員集合

[平成2年12月] 社員旅行(沖縄)



若夏会(個人タクシー)吉田会長(右端)をお迎えして(那覇)

[平成3年12月]
社員旅行(ペナン・クアラルンプール)



楽しそうですね! モチロン!

[平成4年6月] 大洲支店開設記念パーティ(愛媛舗道ビル)



中岡支店長と抽選会



社員紹介ですヨ

[平成4年8月] 社員旅行(中国)



天安門広場にて



万里の長城

[平成 5 年 12 月] 社員旅行 (北陸)



東尋坊にて



カップラーメンとビール一本

平成 7 年 3 月 16 日] 創業 40 周年祝賀会 (ホテル奥道後)



皆様をお迎えする社員



町田創業者



パーティー会場も超満員

[平成7年5月] 松山ーソウル線開通



アジアナCC(ソウル)にて



メッタにないナイスショット!

[平成8年1月] 新年会



友岡、松井、光田、光田、野沢、保木口さん



野沢、一色、徳増、武智さん

[平成8年1月]



社員ゴルフコンペ(チサンC.C)

[平成8年4月]



迫力満点! 魔女狩り劇



ルーマニア、オーストリアへ研修旅行に



[平成 9 年 4 月] 社長のためのセールス革命 (スゴイ勉強会でした)



打ち上げ会 (みつまさ)



2 次会は橘寿しで

[平成 9 年 12 月] 社員旅行 (北海道第 1 班)



友ちゃん滑らないでネ



大沼公園にて

[平成 9 年 12 月] 社員旅行 (北海道第 2 班)



光田、田村君大丈夫?



昭和新山にて

[平成 10 年 12 月] 社員旅行 (湯原温泉) ①



ごきげんですネーバッチリです



会長 唄えるんですか?

[平成 10 年 12 月] 社員旅行 (湯原温泉) ②



浴衣もキレイですネー

[平成 11 年 12 月] 社員旅行 (バンコク・プーケット)



水上マーケット



何を話しながら食べてるんですか



バンコク エメラルド寺院にて

[平成 12 年 3 月 26 日] 感謝の船 (大三島)



そろいのハッピーでお出迎え



村田君この笑顔があれば大丈夫



[平成 12 年 12 月] 社員旅行 (山陰)



出雲大社にて



楽しい宴会出来たかナー

[平成 13 年 12 月] 社員旅行 (宮古島)



光田君、お猿さんですか？



砂山にて

[平成 14 年 10 月] (社) 倫理研究所発行「職場の教養」に取り上げられる



朝礼では活発な雰囲気と熱い声で朝にむかいます

愛 岡山・山形にある旅行代理店「株式会社日本交通社」の社員が、社員旅行で訪れた岡山・山形県民の生活から始まる。

愛媛県松山市中央八幡六丁目、山形県山形市中央八幡六丁目。この二つの街は、岡山・山形県民の生活から始まる。

岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。

おはよう/カンパニー ⑦

**「いい旅」の喜び
我が喜びに**

(株)日本交通社

愛媛県松山市藤山町1丁目18-10
(愛媛県松山市中央倫理法人会)

岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。

岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。

岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。

岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。岡山・山形県民の生活から始まる。

[平成 14 年 12 月] 社員旅行 (高知)



西条・アサヒビール工場見学



ビールやりすぎじゃないですか

[平成 15 年 10 月] お月見会 (サンパーク)



乾杯! さあやりましょう



テーブルで記念撮影

[平成 16 年 3 月] 研修旅行 (中国西安)



中国のビールおいしいですか



西龍寺「空海記念碑」にて



兵馬俑坑にて



西龍寺のしだれ桜が満開でサイコー

[平成 16 年 12 月] 社員旅行 (ランカウイ・バリ)



何のポーズですか



ちょっとお疲れかな?

[平成 17 年 3 月] 創業 50 周年感謝の船 (宮島)



フェリーくるしまをチャーター



お楽しみ抽選会

[平成 17 年 12 月 6 日] 創業 50 周年祝賀会 (松山全日空ホテル)



加戸知事で夫婦と合唱



会場いっぱいのお客さま (430 名)



社員で記念写真ハイポーズ

[平成 19 年 8 月] JATA ソフトボール大会



見事準優勝！



強打！中村選手

[平成 19 年 12 月] 社員旅行 (南紀白浜)



田村常務上機嫌



何を踊ってるんですか



全員集合 (白良荘グランドホテル)

[平成 20 年 12 月] 社員旅行 (湯村温泉)



湯村温泉 (夢千代像)



光ちゃんよく似合うヨ 朝野家



元伊勢龍神社へ参拝

[平成 22 年 12 月] 社員旅行 (唐津)



歴史を学びましたか (名護屋城跡)



唐ワン君



楽しそうですネ 汐湯旅館 (唐津)

[平成 24 年 12 月] 社員旅行 (湯本温泉)



赤間神宮



錦帯橋にて



馬力充分!これなら大丈夫 (大谷山荘)

[平成 25 年 9 月] JATA ソフトボール大会



よくやった!見事準優勝



やっぱり慰労会は成績次第

[平成 26 年 3 月] 日本交通社協力会総会



道後温泉花ゆづき

[平成 26 年 12 月] 社員旅行 (沖縄)



琉球村にて



テーブル宴会 (リザンシーパーク谷茶ベイ)

[平成 27 年 3 月] 第 50 回えひめハッピーツアー杯ゴルフ大会 (大和屋本店)



いつも好評表彰式



優勝者 川口さん

[平成 27 年 12 月] 社員旅行 (山陰)



[平成 28 年 3 月] 創業 60 周年記念祝賀会 (国際ホテル松山)



パーティー会場



中村社長の挨拶



お祝いのお花もいっぱい



たくさんのお客様をお迎えして賑やかに

[平成 28 年 7 月] 光田社長初めての経営会議



打ち上げはネストホテル松山で

[平成 28 年 12 月] 社員旅行 (北海道)



雪の北海道 大沼公園にて

中村剛志オーナー砥部町長時代

[平成 14 年 11 月～25 年 2 月]

まさか！本人もビックリの町長選出馬

平成 11 年 11 月 (落選)



当 6,926票 高市 昭次 57 無現
5,990票 中村 剛志 55 無新
(無効94票)

平成 14 年 11 月 (当選)



砥部町長選開票結果(選管最終)
当 7,454票 中村 剛志 58 無新
5,344票 高市 昭次 60 無前
(無効173票)

平成 17 年 2 月 (当選)



砥部町長選開票結果
当 9,535票 中村 剛志 60 無新
3,933票 高市 昭次 62 無新
(選管最終、無効154票)

平成 21 年 1 月 (当選)



砥部町長選開票結果
当10,245票 中村 剛志 64 無現
2,305票 土居美智子 67 無新
(選管最終、無効250票、投票率69.66%)

私の公約

公平、平等行財政改革

平成 14 年 11 月

(役場の経営も企業感覚で)



職員の意識改革

平成 14 年 12 月～

(昼食懇談会、トレーナーによる教育)

職員五心

1. 砥部町職員の自覚と誇りを持って行動します
2. 先手で明るく元気な挨拶をします
3. 町民の皆さまの立場に立って親切な仕事をします
4. いつも問題意識をもって物事に取り組みます
5. 地域の行事やイベントに積極的に参加します

民意による合併

平成 16 年 7 月

(住民アンケートで決定)

合併調印式



公共下水道

工事着手 平成 17 年 11 月

供用開始 平成 22 年 3 月

(平成 2 年よりの懸案)



[平成 14 年 11 月]



初登庁

[平成 15 年 1 月]



伊予郡町村長会 (東京)

[平成 16 年 12 月]



広田村閉村記念式典

[平成 16 年 12 月]



東京陳情 (愛媛県町村会)

[平成 17 年 1 月] 陶街道の町づくり



砥部焼伝統産業会館



シンボルタワー愛伊砥くん (愛媛県伊予郡砥部町)



梅山 大登窯



道の駅ひろた

[平成 18 年 11 月]



秋の砥部焼まつり（歩行者天国）

[平成 18 年 10 月]



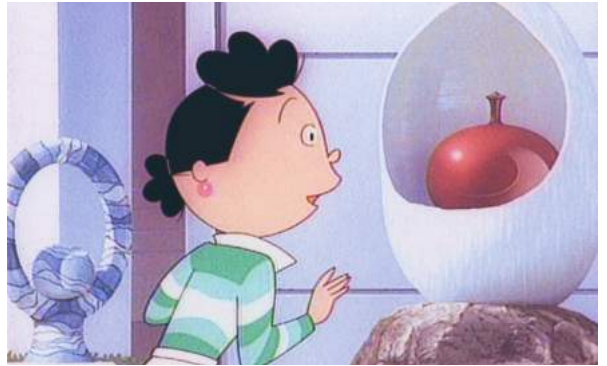
町民の森「木楽里」植樹

[平成 19 年 9 月]



四国アイランドリーグ始球式

[平成 20 年 4 月]



サザエさん砥部へ？

[平成 20 年 10 月]



皇太子殿下ご来町（育樹祭）

[平成 21 年 5 月]



玉春日断髪式（両国国技館）

[平成 21 年 6 月]



河内内子町長慰労会（愛媛県町村会）

[平成 21 年 11 月]



砥部焼ロンドン展

[平成 22 年 4 月]



梅野武之助翁顕彰碑（陶祖ヶ丘）

[平成 22 年 5 月]



砥部町のキャラクター「とべっち」

[平成 23 年 4 月]



致知出版藤尾社長、中村知事、野志市長と

[平成 23 年 7 月]



東日本大震災視察（宮城県七ヶ浜町）

[平成 24 年 3 月]



坂村真民記念館落成

[平成 24 年 4 月]



なでしこジャパン

[平成 24 年 6 月]



九重親方と（ゴルフの後で）

[平成 24 年 6 月]



砥部焼新潟展

[平成 24 年 10 月]



園遊会にて

[平成 25 年 1 月]



民話の里「ひろた物語」(記者会見はロビーに統一)

[平成 25 年 7 月]



R33 中央分離帯に砥部焼を(10年間の想いがつまっています)

[平成 26 年 2 月]



伊予市倫理法人会設立(鍵山秀三郎さん、武智市長)

[平成 26 年 4 月]



知事、町長に応援頂いて「とペリて」誕生

[平成 26 年 6 月]



秋篠宮殿下をお迎えして(全日本愛瓢会砥部大会)

[平成 26 年 11 月] 秋の叙勲

2014年秋の勲章伝達式が5日、県庁であった。地方自治や保健福祉、選挙管理分野で功績のあった13人に中村時広知事が勲記と勲章を手渡した。伝達は知事推薦の受章者のうち総務省関係が9人、厚生労働省関係が4人。それぞれ小綬章以下と双光章以下が対象となった。県によると、今回の対象は、今回の

秋の勲章 13人に伝達 県庁

2014年秋の勲章伝達式が5日、県庁であった。地方自治や保健福祉、選挙管理分野で功績のあった13人に中村時広知事が勲記と勲章を手渡した。伝達は知事推薦の受章者のうち総務省関係が9人、厚生労働省関係が4人。それぞれ小綬章以下と双光章以下が対象となった。県によると、今回の対象は、今回の

秋の勲章伝達式で謝辞を述べる中村剛志さん(中央)＝5日午前、県庁

[平成 26 年 11 月] 野志克仁松山市長の選対本部長を務める



選対会議



見事当選

[平成 27 年 1 月] 松山百店 この道ひとすじ

昭和41年城南農協連合会として
会長へ(右端) 左:若かりし松山市長
時代(20歳のころ)

元へそでは営業に添乗、
経理、人材確保と八面六
臂の大活躍。
紙部町の商工会や園芸
組合が慰安旅行を、小6
の時の担任教師が修学旅
行を、とそれまで関わった
人々から旅を任されたの
を皮切りに、旅行ブームの
到来と大阪万博の開催な
ど時代の後押しもあって

業績を順調に伸ばした。
同年町田さんが勇退する
と、若千25歳で経営者とな
ったのだ。
人生設計通り、確実に歩む
とともに独立し、日本交
通社四国本社」設立、さら
に5年後には現社名「日
本交通社」になった。

「同業者より半歩だけ
前を歩け」と社員を鼓舞
する町田さん。セミナーや
勉強会にも参加して、知
見も人の輪も広がった。
「30歳までに会社の道
筋を付け、35歳までに社
員を30名以上とし、40歳
までに本社ビルを建て、50
歳には社長の座を譲り会
長になる」と、若い頃立て

「紙部の町を明るく楽しく
現実にしようと」と、町
田さんは会長に就任。4人
の子が世話になった紙部
中PTA会長、商工会副会
長などを歴任。
「紙部の町をもっと活
性化せんといかん」と言葉に
押され平成14年1月から

83

型破りな町長も務めた
旅行屋の“つよっさん”
日本交通社
中村 剛志さん(70歳)

この道ひとすじ
百店会員の名物オーナー登場

のびのび育った子ども時代
松山の旅行代理店とし
ては草分け的存在の日本
交通社社長、中村剛志さ
んは、生まれも育ちもそ
して今に至るまで生粋の
紙部っ子だ。戦時下の昭和
19年、役場勤めの中村照
市さんの長男として紙部
町と伊予市の山境の里山
に生まれた。

5歳の時、紙部の中心、
大南へ越してからはやんち
やふりを全開、小中学校
時代は毎日地元の子とも
たちと日が暮れるまでよ
く遊んだという。

「竹馬バッチン、ランコン
など教えればきりがあ
りません。紙部川で泳ぎ、障
子山や水晶山に遠征した
ことも。その頃の先生たち
には、悪ガキだったのがわ
いもが、長子としてから
もお世話になりました」
大きな転機で旅行業へ
松山商業高校を卒業し
た剛志さんは伊予商連に
就職し関西汽船の切符発
売所で働き始めた。ある
日、兄貴えのある女性が切
符を買いに来た。高校へのバ
ス通学時にいつも乗って
くるスリッパ姿の人だ。思わず
声を掛けたのが人生の大
きな転機となった。
その女性、町田珠江さん
は、大阪に本社を構える
日本交通社松山営業所を
独りで切り盛りしていた
のだ。同郷で、あそこは
ほんならと見込まれ、「も
う年だから辞めたいのだけ
ど、後を継いで欲しい」との
申し出。
働き始めたばかりの勤
め先をすぐ辞めるわけに
はいかない。3年たったら
んといふ。その言葉通り昭
和41年、22歳で町田さんの

82

[平成 28 年 1 月] 「松和会」新年会



松和会新年会(毎年、知事、市長と一緒)

[平成 28 年 11 月] 家紋の会



飲んだら電話する悪いクセ(でも来てくれます)